

東通村福祉の集い～「ともに生きる豊かな地域社会をめざして」～

10月20日、東通村体育館を会場に「東通村福祉の集い」が開催されました。

第1部の第22回東通村社会福祉大会では、吉田昭美大会長、越善靖夫名誉大会長による挨拶に続き、多年にわたり地域福祉活動に尽力された2名に表彰状が贈られました。また、式典後には、青森県立中央病院の医療管理監である小野正人氏が「健康寿命アップを目指して」と題し、軽妙なトークでメタボ対策や寝たきり防止対策、生活習慣改善の必要性などをご講演くださいました。

第2部の第31回老人クラブ唄と踊りの集いでは、各地区老人クラブから元気な踊りが披露されました。熟練の手さばきと愛嬌いっぱいの芸に、会場はたくさんの歓声と笑い声に包まれました。

＜ 福祉大会表彰者 ＞

氏名	ご功績
真手 悦子	民生委員児童委員として社会奉仕の精神に徹し、多年に亘り地域福祉活動に尽力され、社会福祉の増進に寄与された。
東田 眞理子	民生委員児童委員として社会奉仕の精神に徹し、多年に亘り地域福祉活動に尽力され、社会福祉の増進に寄与された。



イスを使って体操しながらの講演（左）と熟練の技による踊りの披露（右）

目標に向け、笑顔で職業体験 ～東通中学校2年 川島帆洋さん～

東通中学校2年生の川島帆洋さんが、10月29日～30日の2日間にわたり東通村役場を訪れ、役場職員として職場体験学習を行いました。

川島さんには、東通村生産物等直売所で農水産物の直売を体験してもらった後、東通村の現状、集落の成り立ちや村が推進している第1次産業の仕組みなどを学んでもらいながら、主に広報の仕事を体験してもらいました。

直売所では、その日の野菜を覚えることに戸惑いながらも、笑顔でお客さんに應對し、村民と顔を合わせて仕事をしました。また、同じく職場体験をしている同級生の取り組みを取材し、自ら原稿を考え、IP端末を使って中学校へ広報しました。

今回の職場体験を一助とし、将来の勤労観・職業観を培い、これからも目標に向かって頑張ってください。



直売体験（上）と共に一次産業を支える施策を学習（下）

10月29日（水）、下北文化会館大ホールにおいて「平成26年度青森県防火の集い下北大会」が開催されました。

大会中のアトラクションでは、こども園ひがしどおり幼年消防クラブが出演し見事な器楽合奏を披露しました。大会の目的やアトラクションの様子は「下北地域広域行政事務組合」のホームページからご覧いただけます。⇒ <http://shimoko.e-shimokita.jp/syobo/971/>

